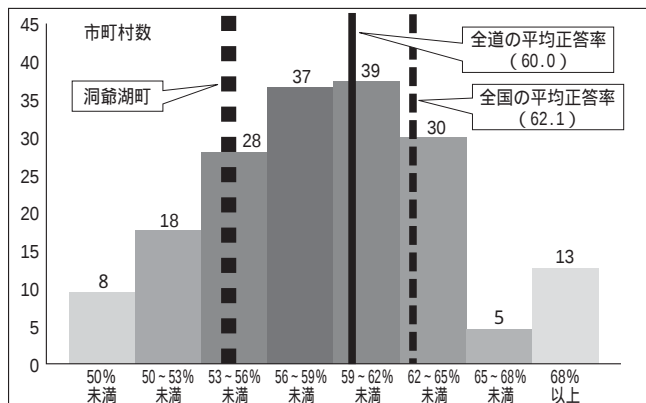
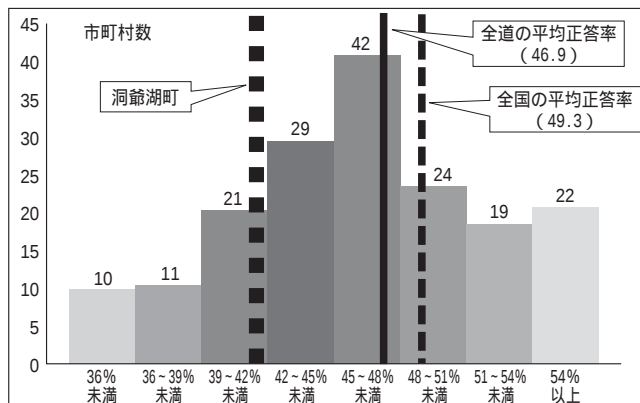


【中学校数学A】(主として「知識」に係る問題)



【中学校数学B】(主として「活用」に係る問題)



グラフの見方

各科目の北海道平均正答率を3%ごとの階層に区分し、その階層に含まれる市町村数を示しています。■ ■ ■ 線は洞爺湖町、—— 線は北海道、----- 線は全国の平均正答率のおおよその位置を示しています。

例えば、小学校国語Aの問題をみると、平均正答率78~81%未満の階層に洞爺湖町が位置し、この階層には32の市町村が属することを示しています。

北海道の線より右側に洞爺湖町の線があり、北海道平均を上回っていることがわかります。

平均正答率の北海道平均とのおおよその差

		小 学 校				中 学 校			
		国 語		算 数		国 語		算 数	
		A	B	A	B	A	B	A	B
高	い								
やや高	い								
やや同様	(上位)								
北海道平均		●	●	●	●				
やや同様	(下位)					●	●	●	●
やや低	い								
低	い								

● 胆振管内平均 洞爺湖町平均 全国平均

小学校調査の結果概要

洞爺湖町の平均正答率は、国語Aで初めて、北海道平均を若干ですが上回りました。その他の科目もほとんどが、前回に比べ北海道平均との差がなくなりました。新たな科目の理科を含めて、ほぼ北海道平均に近づいたといえる結果です。町内の学校間での差も小さくなっています。ただし、北海道平均自体は全国よりは低い状況です。

中学校調査の結果概要

全科目を通して、北海道平均を下回る状況はこれまでと同様です。昨年度は北海道との差を小さくしたのですが、今年度はその差を国語Bを除いて、大きくしました。理科は北海道とほぼ同様(下位)ですが、国語、数学ともある程度の差があります。全国平均を上回る学校もあり、町内の学校間の差が大きい状況がみえます。

子どもたちに基礎学力を保障するために

学力調査は学力の一面を表すものであり、平均点を上げることが目的ではありません。子どもたちが「社会で自立して生きていくために」、「自分の将来を的確に判断するために」、基礎学力は欠かすことができません。そこに、地域間の学力差があってはなりません。子どもたちに基礎学力を保障するために、学校、保護者、地域が連携して教育に取り組むことが大切です。

質問紙調査を通して

毎日、朝食を食べる習慣が小学生で低い
小学生...82.4% 中学生...91.5%
小学生は昨年より低く、中学生は高い
平日、テレビを見る時間が長い
(3時間以上見る割合)
小学生...51.5% 中学生...39.0%
小中学生ともに全国・北海道より高い
平日、テレビゲームをする時間が長い
(2時間以上する割合)
小学生...41.2% 中学生...32.3%
小中学生ともに全国・北海道より高い。
特に、小学生は北海道と比べても10%以上高い
平日、授業以外で勉強する時間が短い
(1時間以上する割合)
小学校...38.2% 中学校45.8%
小中学生とも全国に比べ20%以上低い
図書館にあまり行かない
(学校図書室、地域図書館にほとんど又は全く行かない割合)
小学生...48.5% 中学生71.2%
小中学生ともに北海道より10%以上高い
自己肯定感が低い
(自分には良いところがあると思う割合)
小学生...25.0% 中学生11.9%
小中学生とも全国・北海道に比べ低い

